



2012年6月号 No.72

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

全労済北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

道連ニュース

～道連第56回通常総会を開催～

全8議案が議決され、二川・林理事及び田中・菅田監事が就任しました

定款・規約改正が議決され IYCなどを企画へ



第56回通常総会で浜田美智子道連環境生活部くらし安全局長から挨拶を頂戴しました(右から2人目)



交流懇親会で福島の状況を報告する野中ふくしま専務

通常総会が6月21日、ホテルポールスターで開催され、全議案が議決されました。代議員定数は32名で、実出席16名他は書面議決でした。議長は二川代議員(生活クラブ生協専務理事)が努めスムーズに執行され、交流懇親会の設定もあり、昨年に続き1時間運営でした。尚、交流会は道連活動見直し検討委員会との中間報告を受けて企画されました。

浜田美智子北海道環境生活部くらし安全局長・近藤隆消費者安全課長及び青沼日生協地連事務局・野中コープふくしま専務・重原ユニセフ



退任役員を代表して挨拶する池内理事

協会相談役・大嶋ホクネット事務局長の6名が来賓として参加されました。

始めに麻田会長が開会の挨拶を行い、来賓を代表して浜田局長より東大日本大震災での支援活動やIYCに触れた激励のご挨拶を頂戴して議事に入りました。又、日本生協連を含む34生協・都府県連などからのメッセージや「あんしん福島募金」と「署名活動」が紹介・配布されました。

今総会で退任された前濱理事・伝法特定監事・吉澤監事らを代表して、22年余り務めた池内理事が挨拶されました。

交流会では、木谷道消費者協会専務・山本ライフサポートセンター専務・木村さっぽろ社会福祉基金専務らを含めた来賓や新旧役員及び北電生協・コープさっぽろ代議員らが挨拶され交流を深めました。尚、増強された道連事務局の新体制も紹介されました。

逼迫している道連財政のなかで、「道連活動の見直し検討委員会」中間報告を受け、5月理事会では新年度を含む暫定会費や6月総会で定款・規約の改定が議決されました。

「日本の生協の2020ビジョン」や「県連あり方検討会・答申」を含む議論の継続の中で結論を得ていく事になります。

・2012年度役員名簿・事務局体制・

会長理事	麻田 信二 (員外)
専務理事	前川 和広 (員外)
理事	伊東 完 (北海道学校生協常勤理事)
"	小松 徹人
"	(さっぽろ高齢者福祉生協専務理事)
"	中島 則裕 (コープさっぽろ常務理事)
"	中司 誠 (北海道労済生協専務理事)
"	中村 伸司 (北大生協専務理事)
"	(新任)林 朋子 (コープさっぽろ理事)
"	(新任)二川 悟 (生活クラブ生協専務理事)

理事	山口 敏文 (コープさっぽろ専務理事)
"	米田 恵子 (北海道医療生協常務理事)
特定監事(新任)	田中 幸雄 (北海道住宅生協専務理事)
監事(新任)	菅田 敏文 (北海道医療生協専務理事)
"	佐藤 敦紀
	(大学生協連北海道事業連合常務理事)
事務局長	前濱喜代美
事務局	小野 弘也 (事業連携「元気プロ」代表)
"	川原 敬伸 (" 事務局長)
"	北野 静江

事業提携推進委員会が5月にスタートしました

～道生協連の呼びかけで5会員生協・3団体が参加～

5月31日、道生協連の呼びかけに賛同いただいた8団体が集まり、第1回事業提携推進委員会が全労済北海道会館にて開催されました。

呼びかけの趣旨は、国際協同組合年のスローガン「協同組合がよりよい社会を築きます」に応え、今日の少子・高齢化社会の重要課題福祉分野の事業提携論議を呼びかけたものです。

会は、前川道連専務よりの経過説明の後、座長としてコープさっぽろの山口専務を選出し、意見交換が行われ次の点が確認されました。

この委員会の活動は、「高齢者の安心して元気な老後の実現」に向けて、各組織の強みを生かしたネット

ワークの力で事業と運動を推進し、結果として道民の生活向上と各組織の社会的影響力の向上・経営基盤強化を目指す。推進体制として、当委員会の元にプロジェクトを編成する。当面「複合型福祉施設の拠点づくり」を推進する通称「元気プロ」を設置する。事務局体制として、事務局長と元気プロ代表を配置する。最後に、次回は6月28日開催を確認し会は終了しました。

〔参加団体名〕

コープさっぽろ・全労済道本部・道医療生協・道住宅生協・さっぽろ高齢者福祉生協・ほくろう福祉協会・北海道労働者協同組合・道退職者連合

生活クラブ生協

2012年度通常総代会が開催されました

～12年度の主要活動テーマは「人に会う」～

5月30日、さっぽろ芸術文化の館において2012年度通常総代会が開催されました。船橋理事長から「3.11の大震災による福島第1原発事故以降、市民の意識は大きく変わったのに状況は何ら変わっていない。設立30周年を迎える生活クラブにとって、反・脱原発運動は生活クラブの原点。今年はみんなで意志を持った一步を踏み出そう」と挨拶。「11年度の活動報告では組合員数の減少や第一次産業の弱体等の影響を受け、共同購入活動は前年対比97.6%に留まった。しかし、主要課題として取り組んできた福祉基金は語る人を増やし、年度末には3044人となり、市民参加による福祉を地域に拡げていくことにつながった」との総括がありました。

12年度の主要活動テーマは「人に会う」。人は生き

る・生活するという不安は、人と人との関わりの中でしか解決されない。今年度は活動テーマの下、班と戸配組合員との出会いや地域の人たちの出会いをも想定した「国際協同組合年」に相応しい豊かな活動を目指す。また、生産・消費の持続可能な社会を実現するため、より大勢の組合員や生産者との協力の力で自給率の向上を目指し、共同購入を進めていくこと等賛成多数で可決されました。



全議案が原案通り承認された総代会

札幌医療生協 第26回通常総代会を開催しました

5月29日(火)午後6時半から当院4階講義室で第26回通常総代会が開催されました。総代100名(実出席30名、書面議決書70名)



5月29日、全議案が可決承認されました。

が参加し、平成23年度の経過報告及び平成24年度の事業計画などが審議され、いずれも賛成多数により可決承認されました。

総代会閉会にあたっての札幌南青洲病院四十坊院長からのあいさつでは、今般の医療報酬並びに介護報酬の改定を背景に、当組合は内科診療の充実と共に在宅診療への充実を図り、すでに在宅療養支援診療所とし

てのホームケアクリニック札幌の活躍を踏まえ、当院も在宅療養支援病院として、入院だけでなく在宅へ力を注いでいきたいという方向性が示されました。これからも、地域の皆さまにとって、なくてはならない医療機関を目指していきます。

恒例のホスピス病棟のお花見を行いました

5月16日、平岡梅林公園で毎年恒例のお花見を行いました。当生協の札幌南青洲病院には18床のホスピス病棟があります。1年を通じて様々なイベントを行っており、お花見は春の最大のイベントです。



満開の梅の花の下、ボランティアのフルート演奏で春の歌を合唱しました。